

令和4年度商工施策要望活動を実施 11月8日京都府に要望書を手渡しました

舞鶴商工会議所では、京都府や舞鶴市の来年度事業予算に反映していただくため、会員の生の声を集約した「令和4年度商工施策要望書」を取りまとめました。そして、10月28日の舞鶴市に続き、11月8日には京都府への要望活動を行いました。

午後1時30分に瀬川参与、西山専務理事が京都府中丹広域振興局を訪ね、岡田農林商工部長、森田主幹と懇談。126項目の要望内容について、背景や理由など主旨を説明し、西脇京都府知事と綾城振興局長への伝達を依頼しました。

これを受けて岡田部長からは、「いただいた要望事項については、西脇知事と綾城振興局長にしっかりと伝え、今後の府政推進に役立てたい」旨の発言がありました。



岡田農林商工部長へ要望書を手渡す

新型コロナウイルス影響調査

83%に影響あり 新たな販売先(取引先)の確保が必要48.7%

全会員(1,035事業所)を対象に10月1日から15日まで、「新型コロナウイルス感染症」に関するアンケート調査を実施しました。調査は昨年8月に続き2回目となり、393事業所(37.9%)から回答をいただきました。

自社へのコロナ禍の影響について問う設問では、「非常にある」、「多少ある」と答えた事業所は83.0%に上り、前回調査から7.2%増加しています。【別表1】

影響を受けた事業所のうち、「売上・受注の減少」と答えたものが83.2%と最も多く、業況の改善については、「浮き沈みはあるが改善されていない」が45.2%、「浮き沈みはあるが回復基調にある」が32.4%、「全く改善されていない」が22.4%となっています。【別表2】

今後、必要と考えられる取り組みについては、「新たな販売先(取引先)の確保」48.7%、「IT化」17.5%、「合理化・生産性向上」17.2%、「新たな事業の立ち上げ」16.6%が上位となりました。【別表3】

会員の皆様にはアンケート調査にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。調査結果や頂戴した声は京都府・舞鶴市等の関係機関と共有し、今後の施策に活かしていただけるよう取り組んでまいります。

なお、結果の詳細は舞鶴商工会議所のホームページでご覧いただけます。

【別表1】自社の業況への影響

回答	前回(R2.8)	今回(R3.10)
① 非常にある	42.8%	43.8%
② 多少ある	33.0%	39.2%
③ 以前影響受けたが現在は無い	5.8%	3.6%
④ 今後影響を受ける可能性がある	15.6%	5.9%
⑤ ない	2.9%	7.6%

【別表2】影響を受けて以降の状況の変化

回答	今回(R3.10)
① 浮き沈みはあるが回復基調にある	32.4%
② 浮き沈みはあるが改善されていない	45.2%
③ 全く改善されていない	22.4%

【別表3】今後必要な取り組み(複数回答)

回答	今回(R3.10)
① 業種・業態転換	15.2%
② 新商品開発	16.3%
③ 新たな販売(取引先)の確保	48.7%
④ IT化	17.5%
⑤ 新たな設備導入による合理化、生産性向上	17.2%
⑥ 新たな事業の立ち上げ	16.6%
⑦ M&A	4.0%
⑧ 事業の縮小・廃業	15.2%
⑨ その他	5.4%